

ばらつきがあるものの景況感は回復傾向、しかし、来期見込みは余談を許さず！

— 2016年10月～12月期 中小企業景況調査報告書概要 —

日銀が12月14日に発表した12月の企業短期経済観測調査（短観）によると、企業の景況感を示す業況判断指数（D・I）は、大企業・製造業で前回9月調査のプラス6から4ポイント改善しプラス10となった。改善は6四半期ぶりである。大企業・非製造業は前期まで3期連続で悪化していたが、今期はプラス18と前回と同ポイントである。中小企業・製造業はプラス1となり前回9月調査（マイナス3）から4ポイント改善した。これで2期連続して改善となっている。中小企業・非製造業も9月調査のプラス1から1ポイント改善してプラス2となっており、こちらも2期連続で改善している。

大企業・製造業は、米国など海外経済の回復で自動車など輸出企業の景況感が改善した。米大統領選後の世界的な株高や原油市況の回復も追い風となった。大企業・非製造業は、円高進行による訪日外国人消費の鈍化で小売りの景況感が悪化した。都心の再開発が進み、建設関連が高水準を維持し、電気・ガスなども改善した。3か月後の先行きの見通し（来年3月予測）は、大企業・製造業がプラス8で今期より2ポイント悪化、大企業・非製造業もプラス16と今期よりも2ポイント悪化すると予測している。中小企業においては、製造業が今期より5ポイント悪化しマイナス4、非製造業は4ポイント悪化しマイナス2と予測しており、大企業よりも悪化幅が大きく、今期よりは厳しくなる見込みとなっている。

内閣府が12月21日に発表した12月の月例経済報告においては、国内景気の基調判断を「景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」として

1年9ヶ月ぶりに上方修正した。海外経済の回復で輸出に持ち直しの動きがみられる。雇用環境の改善や所得の増加により、個人消費が上向いてきたことも反映した。個別項目でも個人消費や輸出が「持ち直しの動き」に上方修正されている。

商工会地域の景況調査においては、今期（2016年10月～12月）の業況に関するD・I値は、製造業が前期より2.3ポイント改善しマイナス29.0、建設業が13.0ポイントと大幅に改善しマイナス26.1、小売業が1.7ポイント改善しマイナス34.1、サービス業が7.5ポイント悪化しマイナス32.0となっている。前期は全業種が悪化していたが、今期はサービス業のみが悪化し、他の業種は改善に転じている。しかしながら、どの業種もマイナス20台後半から30台の前半であり、厳しい状況に置かれている。来期（2017年1月～3月期）の業況予測については、製造業が今期に比べて4.0ポイント改善しマイナス25.0、建設業は今期の反動か12.0ポイント悪化しマイナス38.1、小売業は8.0ポイントと大幅に悪化しマイナス40の大台を超えるマイナス42.1になると予測している。サービス業は、2.0ポイント改善しマイナス30.0と予測している。

商工会地域の景況感は、製造業、建設業、小売業は今期改善したが、来期予測では建設業と小売業は大幅に悪化すると予測しており、回復傾向を維持できない。製造業とサービス業も来期は改善する見込みであるが、厳しい状況にあることは変わらない。

（中小企業診断士 橋本大輔）

業界天気動向図

項目	売 上				採算（経常利益）				資金繰り			
	1 H 5 28 3 年 3 月	4 5 6 月	7 8 9 月	10 11 12 月	1 H 5 28 3 年 3 月	4 5 6 月	7 8 9 月	10 11 12 月	1 H 5 28 3 年 3 月	4 5 6 月	7 8 9 月	10 11 12 月
製 造 業												
建 設 業												
小 売 業												
サービ業												

各項目については次により表示した。

区 分	増 加 好 転	やや増加 やや好転	横ばい	やや減少 やや悪化	減 少 悪 化	大幅に減少 非常に悪化
	D・I値(前年同期比)	20.1～	5.1～20.0	5.0～△5.0	△5.1～△20.0	△20.1～△35.0
表 示	快晴	晴れ	曇り	小雨	雨	豪雨

今期直面している経営上の問題点需要の停滞

（数値の左は前期構成比、右は当期割合を%で記す）

製 造 業		1 位		2 位		3 位					
1 位にあげる問題点		需要の停滞		製品（加工）単価の低下、 上昇難		新規参入業者の増加、生産設備の不足・老朽化、人件費の増加					
前期	今期	17.9	22.2	10.7	14.8	—		11.1			
建 設 業		1 位		2 位							
1 位にあげる問題点		請負単価の低下、上昇難		材料価格の上昇、取引条件の悪化、従業員の確保難、官公需要の停滞							
前期	今期	15.8	20.0	—		15.0					
小 売 業		1 位		2 位		3 位		4 位			
1 位にあげる問題点		大型店・中型店の進出による競争の激化、 需要の停滞		購買力の他 地域への流出		消費者ニーズの変化		仕入単価の上昇、従業員の 確保難			
前期	今期	—		20.5	15.4	17.9	12.8	10.3	—	7.7	
サービ業		1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
1 位にあげる問題点		利用者ニーズの変化		従業員の確保難		利用料金の低下、上昇難		店舗施設の狭隘・老朽化		材料等仕入単価の上昇	
前期	今期	18.7	19.1	12.5	17.0	4.2	14.9	16.7	12.8	2.1	10.5